



発行所
全国曹洞宗青年会
〒105 東京都港区芝
2-5-2 曹洞宗宗務庁内
発行責任者 木南広峰
TEL.03-3454-5411#0

青年僧侶のエネルギーを結集しよう
社会的価値ある活動をしよう
青年僧侶の自覚を促そう
地域における活動の連携を深めよう

平成五年度

全曹青総会の御案内

平成五年五月十一日(火)

会 場 宗 務 庁

十一時 理事 会

十二時 評議員 会

二時半 総 会

四 時 禅の集い中央研修会

(講師) キャシー中島(女史)

五時半 懇 親 会

平成五年五月十二日(水)

九 時 事務局 会

※ なお出欠は同封の葉書きにて四月末日までをお願い致します。

◇ 日程等につきまして、当日多少の変更があるやもしれません。

◎ 大勢の出席をお願い致します。

〈総会・懇親会費 壹万円〉

目 次

総会案内・花まつり・禅文化学林	1 2
道元禅師ビデオ・アンケート・静岡第一	3 4
アンケート・菩提樹	5 6
全日仏青大会案内・京都大会報告	7 8

全 曹 青

花まつりキャンペーン実施!

全国曹洞宗青年会の花まつりキャンペーンが今年も実施されました。昨年同様期間中(四月一日より八日迄)全国五千ヶ所の曹洞宗青年会会員寺院と、全国に二万軒の加盟店を持つ社団法人日本生花商協会の加盟生花店に、ポスターと百万枚の花まつりカードを用意致しました。昨年の反省から、ポスターの店頭掲示の時期をより長くする為に、今年は早目にポスター並にカードを配布する様に心掛けました。またポスターとカードの両柄等につきまして、アンケート等におきまして種々の御意見、賛否両論を頂戴致しましたが、当初の目標通りこの運動は十年、二十年続けて初めて結果が出て来るものであることをふまえて、本年は評議員会の決定をふまえて昨年ものをそのまま使用することに致しました。

もちろん現在のキャンペーン実行方法が最良のものであるとは限りません。今後議論を重ねていかなければなりません。花まつりという一大イベントを宗門のただで展開していくのではなくて全く違った組織と一体となって一般にアピールし、大衆を教化していくことにながっていき第一歩となれば、その成果は計りしれないものと確信致します。

四月八日：一人でも多くの方がこの日の意味を知り、語ってくれることを願います。お釈迦様について...そしてお釈迦様の御教えについて.....



破草鞋

日本の四月は出逢いと別れの季節である。一つの組織の中でも退く者もあれば新しく入って来る者もいる。全曹青も役員改選の時期である。出逢いと別れはどんなふうであろうか。そこに笑顔があることを祈らずにはられない。

そして四月は花まつりの時、釈尊降誕会の季節でもある。全曹青の実施した二年目の花まつりキャンペーンはどうであったろうか。その釈尊の御教えの一つ「縁起」を、「共生」の言葉におきかえて、今、全世界が「共生」への模索を開始した。

日本と世界、個人・企業と地域社会、企業と地球環境。「共生」しなければやっていけない時代である。「共生」はもともと生態学上の言葉。一緒に生活することでお互いプラスになっている関係という。クマノミとイソギンチャクに代表されるが、弱肉強食の海洋生物の世界でも「共生」というチエが働いている。理性が働く人間が「共生」を模索する。考えてみると情けない。一九八二年南極上空の成層圏オゾン層に、大きな穴があいて以来オゾン層破壊による温暖化、酸性雨、大気や海の汚染、熱帯雨林の乱伐と地球環境の危機は続いている。ゴミ問題にしても産業の発展、消費生活の多様化と裏表だ。人間と地球の「共生」はまだ先のような。国情の違い、宗教の違いなどで摩擦が起き、戦争も引き起こす。世界全体が「共生」関係になるのはいつのことか。

人は一人では生きられない。多くのものによって生かされているとする釈尊の「縁起」の教えを身近な組織から今こそ実行すべきである。それがあらゆる「共生」へつながっていくはずだ。憎しみや争いから何も生まれないのだから。

第11回 禅文化学林報告

アメリカにおける禅を訪ねて

ロスアンゼルス
サンフランシスコ

11月9日~11月15日



▲拝登風経

殺伐とした現代社会において人々は皆心から愛と幸せを願い、優しさと思いやりを求め、心の依所を切望しております。物質優先主義・経済至上主義等の結果、「現代人は心身共に疲労困憊の極限まで達している」とも叫ばれております。そのような現状の中、宗教者である私達は何一つ具体的な方策を講じてはいなかったのではないのでしょうか。全曹青としては、微力ながら「花まつり」キャンペーンを通じて人々の心に美しい花を開花させるとともに、世界的な平和への実現を最大の目標として活動を続けてまいりました。

そんな折、日本が「経済摩擦」「国際協力」「市場解放」など様々な諸問題を各国から提示され、特に戦後最も親密な関係と言われて来たアメリカによる圧力は「日本叩き」という言葉まで生むに至っております。そこでこの国際化社会に対応するためには、国内における布教・教化活動は言うにおよばず、禅の国際化を考えたとき、それに見合った発想の転換が今こそ必要な時であると考えました。

今回第十一回禅文化学林を開催するに当たり、人類共通の財産であり、世界平和の礎でもある「道元禅」が、新大陸発見五百年を迎えた「アメリカ大陸」において実際のどのような形で流布されているのかを自分達の目で見、耳で聞き、肌で感ぜずにはいられなくなり、「アメリカに於ける禅を訪ねて」をテーマに「道元禅」布教の最前線でもあるアメリカ西海岸ロスアンゼルス及びサンフランシスコの禅センターにおける開講を実施致しました。

◆ 空路、ロスアンゼルスへ

十一月九日
午後二時 成田空港集合
役員・会員・一般参加者総勢三十名が全国各地より定時に全員集合。特別室にて結団式並びにオリエンテーション終了後、出国手続きを完了しユナイテッド八九〇便に搭乗し午後六時三十分、定期通り一路ロスアンゼルスへ向けて出発しました。
ロスアンゼルス空港まで約十時間のフライト。
機内食をお腹に収め、眠りにつく者、興奮のあまりおしやべりに熱中する者、物思いに更ける者。それぞれの思いを乗せて暗闇の空を飛び続けました。
狭い座席による体の痛さと、機内アナウンスにて眼がさめると、小さな窓から朝焼けの鮮やかな光が飛び込んできました。殆どの参加者が眼覚めており、これから一週間の研修に期待と不安を抱きながら、身支度を整えておりました。

◆ ロスアンゼルス到着

現地時間十一月九日午前九時三十分無事ロスアンゼルス空港に到着。
入国審査終了後、全員笑顔で迎えのバスにてカリフォルニア独特の抜けるような青空と爽やかな風の中、ロスアンゼルス市内へ。
ふと「カリフォルニア・ドリーム」という憧れと感傷的な気分を呼びます言葉が頭の中を過ぎりました。
ロスアンゼルスはカリフォルニア州南部に位置し、全米第二の都市であり、西に海、残り三方に山を望む世界でも最大級の盆地のひとつでもあります。
一行はビバリーヒルズ・ハリウッドなどの市内見学をしながら、カリフォルニア気分充分なサンタモニカの海岸にて白い砂浜と真っ青な海を見ながら昼食をとり、宿泊先のロスアンゼルスヒルトンホテルへと向かいました。

途中、ロスアンゼルス暴動の傷痕が今も生々しく残る地域を目の当たりにしたときは、人種問題の深刻さを痛感させられました。

◆ 禅文化学林開講

十一月十日午前九時疲れと眠たさを残しながらホテル前よりバスに乗車、北米別院禅宗寺へ。
禅宗寺は、大正十一年、故磯部峰仙老師により建立。日本人町の中に位置し、教会形式の本堂をなしている。一千人程の日系人を対象に参禅会や、日曜学校、カーニバルを催し、好評を博しています。現在、アメリカ本土の開教総監部が、かれ、総監には山下顕光老師が就任され、アメリカ曹洞宗の布教教化の中心をなしております。



▲山下総監老師の講演

この禅宗寺にて、禅文化学林開講式・拝登風経に引き続き、山下総監老師の御講演を約一時間頂戴致しました。
御高齢にも拘わらず、優しさと親しさの中にも情熱と「道元禅」への思いを込められた布教教化をアメリカという異国の地に於いて実践されているお話と、御苦労は参加者一同胸が熱くなる思いでありました。
山下総監老師は出発間際のバスにまでおいでになり、今、アメリカに於いても心の依所としての禅が充分に受け入れられているのだから、日本に於いても若い力で積極的な教化活動を進めるよう、策励くださいました。

十一月十二日午後一時、前日の自主研修を各々の日程で過ごした一行は、ロス

◆ アメリカ最後の夜

十一月十三日午前九時、ホテル出発。桑港寺、サンフランシスコ禅センターを拝登。桑港寺は昭和九年開教、昭和五十九年四月、丹羽禪師御親修のもと落慶・入仏式が挙行され、現在一世・二世を中心、多くの人々に親しまれております。
また、禅センターは前主監老師の奥様により信仰深き人々の手によって受け継がれておりましたし、ゴールデン・ゲイト・ブリッジを渡り、山道を入った奥にあるグリーンカウチ農場禅センターは自然の景観に囲まれた素晴らしい所でした。アメリカ最後の夜はサンフランシスコ湾における洋上の夕食会となりました。
誰もが美しい夜景のもと、静かに一週間のアメリカの研修を、船の汽笛とともに深く心に刻み込んだようでした。
十一月十五日全員無事帰国致しました。

十一月十三日午後一時、前日の自主研修を各々の日程で過ごした一行は、ロス



▲桑港寺にて

曹洞宗施本シリーズ

曹洞宗の教えとところえ

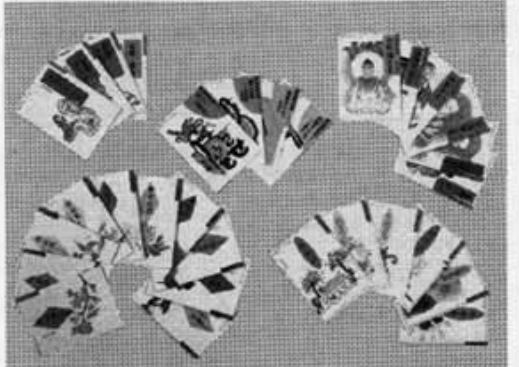
●編集委員 ● 桜井秀雄 奈良康明 池田豊彦 吉田道典 中野東輝

曹洞宗の教え	法要のところえ	聖典のところ
お釈迦さま…池田謙太郎 道元禪師の生涯…池田豊彦	仏事のところえ…中野東輝 葬儀のところえ…山路純正	修証義 1…中野東輝 般若心経…田上太秀
達磨さま…永井政之 聖山禪師の生涯…東 隆真	日常のおまつり…高橋哲秋 仏壇・戒名…吉田道典	修証義 2…中野東輝 観音經…吉田道典
曹洞宗の歴史…桜井秀雄 坐禅のしかた…鈴木格博	日常にいきる信仰	修証義 3…中野東輝 正法華經…大谷晋夫
曹洞宗の行持	若いと生きがい…水原 一 食事のところ…中村信幸	修証義 4…中野東輝 正法華經…小倉玄照
施食会…佐村隆英 大般若会…吉津宣英	料理のところ…石川力山 酒と仏教…奈良康明	修証義 5…中野東輝 正法華經…佐藤悦成
孟蘭盆会…辻 淳彦 花まつり…中野天心		
彼岸会…中野東輝 涅槃会…大野栄人		

◎定価 各280円 全30冊セット定価8,400円
※セットで購入の方には、カラフルな組立式セットケースと子どものおもちや教材「お釈迦さまとぞうさん」が付いています。
※お申し込み合計部数によって、頒布価格が変わります。◎詳しい資料をご請求下さい

寺院と檀信徒をより深く結びつける、初の入門教化施本シリーズ!

「正伝の仏法」を分かりやすい表現と楽しいイラストで説く、「正法の布施」の書。



同朋舎出版 〒604 京都市中京区新町通四條上ル 小橋町428 TEL075-212-5922

●A5判・32頁・表紙カラー・本文2色刷

永久保存版 一一〇分

ドキュメント・ビデオ・ドラマ

五年の歳月を経て

いま八百年のいにしえが

よみがえる

道元

西暦一一八五年三月

さしもの平家一族も壇の浦の露と

はかなくも消えた。

そして、源氏頼朝による

武家政権が鎌倉に誕生した。

その後、正治二年（一一〇〇年）

内大臣 久我道親と松殿基房の娘(伊子)

との間に道元禪師が生まれた。

しかし父は、道元三才の年に没し、

母もまた八才の時に失い、

道元少年に大きな人生の岐路が訪れた。

これは、父母亡き後仏門に身を投じ、

正師を求めて中国にまで渡り、

帰朝後偉大な「正法眼蔵」を完成させ、

京都で入寂するまでの波乱に満ちた生涯を

ドラマと解説で綴ったものである。

題字揮毫・曹洞宗管長 梅田信隆祝下

推薦・大本山永平寺
大本山総持寺
全国曹洞宗青年会

制作・監督 松田光広

制作協力 曹洞宗山形第一宗務所
曹洞宗山形第一宗務所青年会
曹洞宗岐阜宗務所梅花講
曹洞宗岐阜青年会
静岡県第三同志会

出演者

山形県

孝文和 一宣道公英幸英純史史之英暢順孝自文彦成樹彦
祐英国良公孝裕克一俊至修昌由真禪円寛孝浩哲一秀竜
木梨田藤水幡田吉田沢着木藤吉谷吉田川見本立川本田
鈴高土伊平五武三豊長無鈴加三細三菊長深山足深山依

岐阜県

行信順詮行英康宏裕敬道示
寛正孝耀延善文顕昌龍泰昌
島崎井川松尾瀬口本 島山
福石桜今村西百井宮 坂 小松
長野県

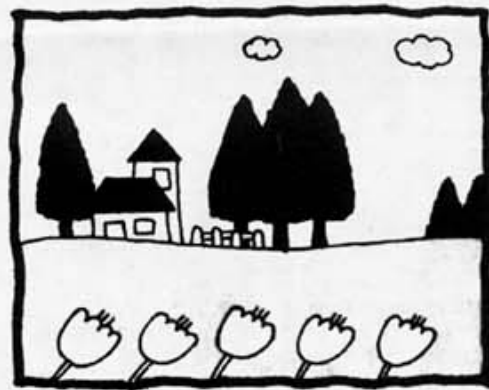
長野県

製作協力者

岐阜県 長国寺 小島 泰道
静岡県 玄泉庵 村松 延行
福岡県 興雲寺 松崎 静俊
山形県 少林寺 鈴木 祐孝
" 透林寺 熊野 龍雄
" 安国寺 三吉 由之

申し込み先

東京都練馬区富士見台3-14-11
株式会社 アドニス ☎03-3970-6715
定価 9800円



今般、親友の青年劇作家、松田光広氏（東京在住）の発願と企画により本格的ドキュメンタリービデオ、「道元」が完成いたしました。五ヶ年の年月で全国の法友に呼びかけ、ロケ地も東京、福井、石川、新潟、宮城、岐阜、静岡、長野、京都、山形と約十都市を五ヶ年かけ出演も各県の青年有志の御協力をおおき、また青年僧侶から主役になっていただきました。寺族の皆様にも詠讃歌も収録させて頂きました。今まで宗門に於いて「御開山様の映画が何故できなかったのか？」という松田氏の問いに我々青年宗侶が宗門のため、檀信徒布教、教化の一端になればと思ひ浅学非才な、批判を顧みず史実に基づいた内容で制作いたしました。その意義を、混迷する、そして一億総価値感有する現代にあつて、曹洞宗、開祖道元禪師の生涯とその教えをビデオで世に問うたことは曹洞宗青年会にとつて時宜になつたものと言えます。そして現代のマスメディアを通じての布教、教化と相俟つて、教化活動の資助と成り得るならば幸甚であります。「心の時代に日本人の心の源として」全国曹洞宗青年会々員諸兄の御高覧を御願ひ申し上げます。

山形県第一曹青会長

三吉由之 九拝

東北寺院ニュースより

檀信徒の布教、教化のために、曹洞宗開祖・道元禪師の一代記を青年宗侶が中心となつて出演、制作したドキュメンタリー・ビデオ・ドラマ「道元」がこのほど公開された。五月に開催された横浜での梅花流四十周年全国大会や六月の東北管区集會の特設売店に展示したところ、売れゆきがなかなか好評で話題となつてゐる。

道元禪師は、正治元年（一一〇〇）誕生し、三才のとき父が没し、八歳にて母を失つて仏門に身を投じた。正師を求めて中国に渡り帰朝後、偉大な「正法眼蔵」を完成させ、建長五年の入寂まで波乱に満ちた五十四年のご生涯をドラマと解説で綴る作品である。放映時間は一時間五十分。八百年のいにしえにタイムスリップし、道元がひたすら正法を鼓吹された模様が刻々と写し出される。制作は東京在住で青年劇作家の松田光広氏。一昨年まで山形県山辺町の安国寺（三吉由之住職）で三回開催された野外劇を監督した人。偶々、訪寺した松田氏は、宗門には「御開山の映画はまだ出来ていない」ともあつて、三吉住職にビデオ・ドラマによる教化貢献案を提言。両者の意見一致をみて「道元」制作に踏み切つた。

史実に基づく編集方針のために、資料収集や時代考証につくすこと一年間。道元に係る東西、横井、義介、螢山の各禪師が登場するにおよんで、ロケ地も往時の面影に出来る限り近づけようと東京・福井・石川・新潟・山形・宮城・岐阜・静岡・長野・京都と約十都市に達した。この中に永平寺、総持寺両大本山はもとより得度した比叡山や初めて晋山開堂の式を挙げた宇治の興聖寺などの名刹などが収録されるが、四季感も問われるのでクラッキングして四年間がかかり、完成まで実に五年間の歳月を要し、昨年十二月完成した。なかでも注目されるのが配役陣、教化ビデオの企画に賛同した山形市周辺の青年宗侶十数人が出演を引き受け、それぞれに研鑽をつんだ持ち味を生かし、即席とは似つかぬ迫真の演技をみせて、ユニークな映画となつた。また視聴者の胸をうつ弁舌よどみないナレーター解説。まるい心の情景をかもし出す梅花流詠讃歌が全編に挿入されている。制作協力者は「このビデオ映画を通して、布教、教化の一端となればありがたいことです。心の時代に日本人の心の源として道元禪師の教えを広めたい」と語つてゐる。題字は完成当時曹洞宗管長の梅田信隆祝下、推薦、永平寺、総持寺の両大本山、全国曹洞宗青年会、制作協力・曹洞宗山形県第一宗務所、同岐阜県宗務所梅花講、静岡県第三同志会。

宿泊・婚礼・法事のご利用に…。

交通

- 地下鉄 都営三田線、芝公園駅より徒歩2分
- 地下鉄 都営浅草線、大門駅より徒歩7分
- 羽田空港より車で25分
- JR浜松町駅より車で3分
- 都バス芝園橋、金杉橋より徒歩3分



Tokyo Grand Hotel

東京グランドホテル

〒105 東京都港区芝2-5-3 ☎ 03 (3456) 2222(代)

FAX ☎ 03 (3454) 1022

「花まつり」キャンペーン

アンケート報告および提言
研修委員長 鎌原 泰彦

- 1 期間中に生花店の店頭で張られたポスターをご覧になったことがありますか
A ある55% B ない45%
- 2 ポスターについて御意見をお書き下さい。
・訴求力が弱い。イメージに走りすぎ。
・お釈迦様のイメージを工夫。仏教色を豊かにするべき。
・若い女性にアピールするような内容でなければ多くの人に見てもらえぬように思う。
・しあわせのゴロ合わせは安易すぎる。
・もっと徹底的にアピールすべき。
- 3 カードについて
・文字を大きくし長々と書かないこと。
・現代感覚が見られず、インパクトなし。
・花と釈尊の誕生を結びつけるのならば、イメージをはっきり。
・キャンペーンコピーはいいと思うがサイズが大きすぎる。半分くらい。
・もっと花を表に出す方がよい。
・文字は大きく、サイズは良い。
・ハガキサイズか名刺サイズに。
4 花まつりキャンペーンについて御意見をお書き下さい。
a 今回のキャンペーンについて
・田舎ではあまり通用しない。
・大変良いキャンペーンだと思いますがまだ初めてなので活動が末端まで理解されていない。
・準備期間がもっとほしかった。
・キャンペーンを実施するのが遅い。
・生花組合に加入していない店があるので各寺院に配布しただけでは良い結果は出なかった。
b 今後のキャンペーンについて
・ポスターだけでは人の心は動かない。もっと直接的な働きかけがあって、ポスターを見た時、人は納得すると思うので、もっとマスメディアの利用を考えるべき。第一に予算を頭において企画し、新聞一面の広告などはどうか。
・一発花火のようなものではなく、長い

期間をかけ少しずつでも多くの人達に知っていただけるよう進めるべき。
・寺としては彼岸前までにポスター等を配布していただきたい。
・他のイベントとドッキング、話題作りオリジナルな展開が必要。

- ・生花店のない地区の人々にどうやってアピールするか検討してほしい。
- ・マスメディアを利用。もう少しコマースナル効果を有効に利用した方がよい。
- ・街と田舎、山の中のやり方をそれぞれ考えないと全国一律はむずかしい。
- 5 あなたの地区はどのような花まつりを行なっていますか。
・地区仏教会の宗派ごとの輪番でポスターを作成し法要を行ない、子供を集めて甘茶を飲ませ菓子を配る。
・各曹青が子供達を集めて花まつり。

まとめ

大きな組織が全国規模で一つのことを行い、その結果を見る時、意見は十人十色であります。ポスターについては仏教色を豊かにすべきの意見もありますが果してそれで若い女性にアピール出来るでしょうか。またカードの大きさ一つにしても大きすぎるのであれば良いという意見もありました。
今回のキャンペーンは日花協の協力を得て実施致しました。日花協の全国に配布するポスター・カードのそれぞれの必要枚数の請求が遅れば、どうしても発送が遅れてしまいます。組合に加入していない店があれば、その場こそ各会員の教化の腕の見せどころではないでしょうか。マスメディアへの利用も充分考えました。又実際に地方局ではありますが、この運動(ポスター・カード)をとりあげてくれた所もあります。しかし経費等を考えた時現時点で一杯であります。皆様方の貴重な御意見を頂き確実に言えることは、この運動を展開し始めたこと、それ自体はかなり有意義なことでありましょう。その方法については今後も検討を重ねていかなければなりませんが一発花火で終わることだけはさけたいと思います。
会員諸兄にはより一層の御協力御理解を賜ります様お願い申し上げます。

大衆教化の接点を求めて 三地区が一つへ

曹洞宗静岡県第一宗務所青年会発足!!

私たちが「第一宗務所青年会」を名のる以上宗務所長老をはじめ各教区長老、方々の承認を得るべく何となく宗務所会にお邪魔させていただきました。御老師の各老師より助言を賜りました。御老師の中で「従来の三地区青年会の活動で充分でありこれ以上の地域拡大は小地域充実活動に逆行するものではないか」と又「人数肥大よりは少数精鋭で」と言う御意見も頂きました。確かに諸先輩老師の心配なされる事も私達は認識しておりますが、それ以上にお互い他地区を別領域の存在とするのではなく、管内は一つと言う立場に立ち、それぞれ異なったタイプの人が違う立場や役割で一つ団体の中でぶつかりあっていく事は、現代社会で宗門の本質を悟り、僧侶としての生き方を確認しあうことが出来ると言う大変意味が深いことであると信じ、広い視野にたつて管内統一の青年会を発足することを決心致しました。

東部、中部、西部地区より会長、副会長、理事、事務局長の各候補が何度となく参集し、打合せ準備等も綿密に行い初代会長に武藤英明君を選任し、四月一日念願の「静岡第一宗務所青年会」を発会致しました。発会には宗務所長老を始め宗務所各教区長老、宗務所職員各老師、三地区青年会会長老師、全国曹洞宗青年会会長、東海曹洞宗青年会会長、静岡県第二、第三、第四宗務所青年会各会長に御来臨の栄を賜り、記念式典、発足総会を行うことが出来ました。又、引き続き催され祝宴では、諸先輩より励ましの言葉を戴き、責任の重さを痛感致しました。尚、発足に於いては、管内の御尊宿より篤志、助成を賜り、先輩老師の温情に感謝の念を新たに致し、以後管内地域社会への教化運動を自らの手で創造推進して行きたいと思っております。

の参加等を計画しております。尚、特別事業と致しまして授戒会を予定しております。これは管内の布教師様より御聞きしたことで、一「檀信徒の宗門に対する意識が非常に低い、たとえは両本山の存在を知らない、両祖を答えられない、三仏忌が如何なるものか又、日々そのものを知らない」と言う事でした。これは一布教師様の主観では無く、「安易な宗教」に走りながら現代社会を背景にした真の現状であると思っております。私達は、このような檀信徒の実態を前提に青年僧侶として微力ながら何が出来るのか考えるに、まず授戒会がクローズアップされました。自らが如来となり、お釈迦様より正伝の菩薩大戒を頂く事こそ檀信徒の宗門への意識向上に一番近道であると思われまます。

しかし、現在授戒会は金銭的にも又、伽藍によっても困難な面が非常に多いと思われまます。私達は是非ともこれらの障害を克服し、どんな寺院でも行ずることのできる授戒会を数多く修行したいと思っております。
運営に際し予算等数多くの問題も抱えておりますが、私達は宗門僧侶の責務である布教教化、自己の研鑽を目的に又、管内宗務所活動に若い力を発揮し協力させて頂く事を互いに確認し静岡第一宗務所青年会を発足致しました。
高慢なる姿勢だと思われるかも知れませんが当青年会に対し諸先輩老師又、全国曹青同志諸兄には御指導、御鞭撻のほど宜しく御願い申し上げます。

役員紹介

- 会長 武藤 英明
- 副会長 青野 之映
- 理事 杉山 学之
- 横井 一隆
- 赤井 俊彦
- 永原 裕晃
- 山口 成信
- 五藤 泰弘
- 近藤 宗彦
- 五藤 秀典
- 山本 俊和
- 新村 道雄

法要の際にご本堂などで

曹洞宗日課経大全

修証義ミニ本

妙法蓮華経

●安楽品 ●序品 ●持明品

100冊未満 1冊につき ¥500

100冊以上の場合 ¥480

100冊以上・1冊につき ¥80

●500冊以上、裏表紙に寺院名を刷込が出来ます。

別編金剛仕上げ表紙(3冊セット) ¥7,000

洋紙(きぬもみ)仕上げ表紙(3冊セット) ¥6,000

●各品ともあります。●修証義との組合せも出来ます。

●お申し込みは (株)タイキ 平538 大阪市鶴見区今津中3丁目9番6号 TEL(06)969-7191 FAX(06)969-7194

「仏前結婚のすすめ」

アンケート報告および提言
— 事業委員長 時 準 雄 —

今期、木南会長の提唱される「慶事としての仏教」をアピールすることを目的として仏前結婚式の在り方を模索致しました。作業途中で会員各位の自坊における仏前結婚式の仕方はどのようなものか？との疑問に目を向けることになりました。空論ではなく実質的な運動を繰り広げるためにも現状の把握は必要不可欠のことです。疑問を解消するためにもアンケートによる意識調査をさせていただきます。このアンケートは全国から無作為に選出された全曹青現会員二〇〇名にお願ひ致しましたが、回収は五〇名でした。低い回収率ではございましたが、大方の意見が反映されていると思われまます。ご協力をいただきました諸兄にこの場をお借り致しまして厚く御礼申し上げます。

— アンケート結果 —

- 1、今までに在家の方の仏前結婚式を行なったことが(又は随喜したことが)ありますか。はい 三五、いいえ 十五
- (1) 問1で「はい」とお答えの方へ
 - ① 何回ほど主催または随喜されましたか
主権一回 七、二回 七、三回 六、四回 三、随喜三回 五回、六回 九回 五、十回以上 三
 - ② 仏前結婚式はどこで行ないましたか
本堂 三三、会館 一、在宅 一、ホテル 三、結婚式場 一
 - ③ 仏前結婚式の当日に随喜した僧侶の人数は何人でしたか。
二人 五、三人 十五、四人 四、五人 三、六人以上 七
 - ④ 当日の配役もお書き下さい。
式師、維那、堂行、侍者、侍香、殿行、解説、進行、音響関係
 - ⑤ 現在行なわれている仏前結婚式で随喜僧の理想の人数は何人と思えますか。その理由もお書き下さい。
二人 二、三人 十二、四人 七、五人 九、六人 二、七人以上 二

- 理由・少ない方がよい
- 手軽に行なわれる
- 経費が節約できる
- 人数が多いほうが良いが、謝礼の関係で減らさざるを得ない
- 最低の人数で効率よく
- あまり多くても騒々しい
- 理由・多いほうがよい
- 少人数にすることにより進退及び動作が大きくなる
- 他の法要とは違う
- 配役を掛け持ちですると式が軽々しくなるし、一人二役では大変である
- 人数が多ければ差定に無理なくスムーズにできる
- 当事者にとって一生に一度の行事なので慌ただしくならないように一人一役が望ましい
- 人が少ないとありがたみに欠ける
- ⑥ 仏前結婚式を行なう際に何を手引書としていますか。
宗務庁の仏前結婚式ガイドノート十八行持基準 七、総持寺法要解説 四、僧侶必携 二
- ⑦ 問⑥の手引書の中の差定以外に付け加えるものがありましたらご記入下さい。
・解説内容を検討してほしい。
・BGMについて詳しい資料が欲しい。
・梅花の挿入箇所を明記する。
⑧ 既刊されている手引書以外にテキストがあれば参照したいと思えますか。
はい 二二、いいえ 八
- ⑨ 仏前結婚式の所要時間はどのくらいですか。(導師入堂から退堂まで)
一〇〜二〇分 一、二一〜三〇分 一七、三一〜四〇分 一三、四一〜五〇分 一、五一〜六〇分 一、六〇分以上 一
- ⑩ 仏前結婚式の理想の所要時間はどのくらいと思えますか。
一〇〜二〇分 三、二一〜三〇分 二〇、三一〜四〇分 八、四一〜五〇分 〇、五一〜六〇分 一、六〇分以上 〇
- ⑪ 新郎新婦はどちらかが檀信徒の方ですか。
はい 三一、いいえ 四

- ⑫ 仏前結婚式は新郎新婦の希望によるものですか。
はい 二八、いいえ 八
- ⑬ 式中のBGMに使用したものは何ですか。
・雅楽(えてんらく)
・仏教賛歌(散華莊嚴、四弘誓願等)
・本庁発行の仏前結婚式のテープ
・クラシック
・梅花、梅花流音楽編/二人の道
・喜多郎、宗次郎、センス、姫神
・ウイナム、ヒル
・エレクトーン
・自作曲
- ⑭ 問⑬にご記入以外で仏前結婚式のBGMにふさわしいと思われるものがありましたらお書き下さい。
・梅花観音二番(音楽編)
・あまりわざとらしくないものが良い。
・新郎新婦に相談し希望のものを掛ける
- (2) 問1で「いいえ」とお答えの方へ
⑮ 仏前結婚式を主催または随喜したいと思えますか。
はい 十五、いいえ 〇

2、宗門における仏前結婚式はどうあるべきとお考えですか。又、どのようにすれば仏前結婚式が広く行なわれるとお考えですか。ご意見をお聞かせ下さい。

・イメージアップを計るためにも広いメディアを利用してアピールすべきではないか。
・寺族または稀に篤信者の仏前結婚式が修される状況ですが、一般化のためには余程の意識改革が必要と思われまます。費用の面で神社等と比較されるので、少人数で安くできるようにしなければ広行なわれるようにはならない。
・葬式とは別の考えを持って行なわなければ結婚式のイメージもよくならない。
・檀信徒の中で一軒でも仏前結婚式があればその事を他に広く宣伝すること。
・仏前結婚式に至るまでの平素のお付き合いが必要である。

・ファッションナブルさ、豪華さでは式場にはかなわない。
・式師の服装を簡単にして葬式仏教の雰囲気を払拭すべきである。
・寺院だけでなく結婚式場と契約しても良いと思う。
・葬式も結婚式も同じような雰囲気のものが多いが、結婚式は格調ある中に明るさとかほやかな演出があり、二人や両家の前途を元氣付けるものにしたいたい。
・アフターサービスがあればよい。例えば帯祝い、出産祝、宮参り等の諸行事、結婚式は滅多にないので曹青会員はボランティアで参加するぐらいの心が欲しい。
・教区に道具一式あれば貸出もでき、各寺院の負担も少なくなる。
・披露宴会場を有しない寺院では、仏前結婚式後の披露宴会場への移動が大掛かりとなり問題も多い。
・結婚費用は教化費として寺で負担する。若者(結婚当事者)と寺との関わりを深める。
・僧侶の自覚以外にはないのではないかと。司祭者のあり方として二通りあると思えます。一つは仏の代わりに二人の誓いを受けること。一つは結婚する二人に代わって仏に結婚を報告すること。いずれの形をとるにしてもお経のない方がよいかもしれない。
・寺の存在そのものが社会から切り放されてしまった部分が多くなってきています。したがって、寺の活動全体の中で仏前結婚式を位置付ける必要があると思えます。(教化の中で)結婚式だけを単独でやろうとしても無理だと思えます。

せん。ある人は方法論に問題ありと言っている人は出発点から間違っているのではないかと指摘します。結婚式への随喜僧の人数についても当初は費用の面から少ないほうが良いと考えておりましたが、余りに少なすぎるのも問題があることが分かりました。結婚式場についてもほとんどの方が本堂とお答えになり、式終了後に披露宴会場に移動する問題を指摘された人がいました。現在の結婚事情を考えてみますと年々披露宴が豪華になっており、仮に会場を移さずに本堂又は会館で披露宴をした場合、果たして新郎新婦そして親族参会者の方々の欲求を満たすことができるかと言えは甚だ不安が残ります。仏前結婚式を既存の結婚式形態の中で生かそうとすれば、時間的、経済的、施設の課題が残ります。敢えて、仏前結婚式を敷衍していくとすれば結婚式そのものの概念を根本から変えていく必要があるのかもしれない。

回答の中に「葬式も結婚式も同じような雰囲気のものが多いが、結婚式は格調ある中に明るさとかほやかな演出があり、二人や両家の前途を元氣付けるものにしてほしい」との意見をいただき、大衆教化の接点の多くは「慶事としての仏教」の中にこそ含まれるものであると確信致します。「是非仏前結婚式を挙げたい」と言っていただけのような生きた教化の在り方を探さうが、仏前結婚式を行なう際に生じる物質的問題を解決するより重要であるように思えてなりません。

今回のアンケートを機に会員諸兄には仏前結婚式の在り方を再確認していただければ幸甚と存じます。なお、仏前結婚式をより多くの檀信徒の皆様がアピールして頂くためにポスターの作成を考えております。後日配布の予定でありますのでその際にはご利用下さい。(了)



心にやすらぎを……

四字禅語 全国曹洞宗青年会著 B6判 定価1300円(税込)

曹洞宗のしきたりと心得 全国曹洞宗青年会監修 B6判 定価1100円(税込)

天龍寺

●五〇冊以上ご注文の方には名入れをサービス致します。詳細は弊社事業企画室へ直接お問い合わせください。

「カセットブック・曹洞宗」 全国曹洞宗青年会著 新書判 定価1500円(税込)

〒162 東京都新宿区弁天町43 電話 03-3267-6821 事業企画室(直通) 電話 03-3267-6824
株池田書店 FAX 03-3235-6672 振替 東京 2-60072 FAX 03-3235-6672

LSRW-1001

PCM DIGITAL
LSRW

Z E N 禪

music by BODAIJU

超宗派組織 福島仏教青年会主催の
『菩提樹コンサート&ステップ』より4年
(曹青通信第62号・好堅樹396頁掲載)

今よみがえるあの感動……



▲永平寺での奉納演奏 (写真提供：福井新聞社)

プロフィール

- 1980年 天上昇、青山晴美の二人で菩提樹 結成
- 1982年 NHKラジオ劇場「ネズミノヨメイリ」NHKFM「二人の部屋」NHKTVドキュメンタリ「黄泉の祝言」音楽担当
- 1983年 コロムビアレコードよりLP「鳥のように」発売
金沢 大乘寺 奉納演奏—NHKTVラジオ放送
- 1985年 NHKTV「サヨナラつくばEXPO'85」FMシアター「紅い花」NHKFM「天上昇のアメリカ音楽の旅」出演、音楽
- 1986年 コロムビアレコードよりLPカセット TO禅マインド [黎明] 発売
杉並 [大宮八幡宮] 福井 [永平寺] 鶴見 [総持寺]
奉納演奏
- 1988年 NHK 春期特集 菩提樹「やすらぎの音を求めて」
つくばコズミックホール「ハレークライシス」総監督
- 1989年 NHK 春期特集「生命誕生物語」音楽担当
NHK衛星 菩提樹コンサート
- 1990年 コロムビアレコードよりCDカセット発売
聴くクスリシリーズ「やすらぎ」ミュージックエステ「瞑想」
NHK衛星放送「メディカルセミナー」テーマ作曲
- 1991年 コロムビアレコードよりCD サウンドオアシス「春の鼓動」発売
NHK人生読本「天上昇アメリカへの晩歌」出演
アニメーションビデオ「道元さま」音楽担当
- 1992年 NHKFM「猿チャラ」テーマ作曲
伊那市 [常円寺] コンサート 福島 [円通寺] 萬燈供養
ライト・シャワーレコードよりCD「禪」発売
アニメーションビデオ「螢山さま」音楽担当
- 1993年 NHKお正月2時間ドラマ「遠い星からきたノーム」音楽担当

スピリチュアル ミュージック
CDアルバム「禪」発売

デユオ 菩提樹

菩提樹結成当時は、ホテルのデザイナーやコンサートでジャズやシャンソンを中心に活動していましたが、いつの間にか二人共、これが自分達の音楽だというには抵抗を感じるようになっていたのです。そしてとうとう解散しようということになり、最後のショーで金沢に行きました。そして偶然にも「大乘寺」という禅寺に出逢ったのです。この寺に足をふみ入れた時、懐しさと何ともいえない心のやすらぎを感じ、また老師様のお話で心を打たれたその日から雲水の方々と共に生活させていただいたのです。この禅寺にて菩提樹は心身共に浄われ、今までとは違った音楽の世界が開けたのです。この生活の中から一九八三年十月、コロムビアレコードよりファーストアルバム「鳥のように」が発売になり、大乘寺にて奉納演奏をさせていただきました。一九八六年五月には、セカンドアルバム「黎明(TO禅マインド)」を発売し大本山永平寺・総持寺にて奉納演奏を成功させました。その後は、ヒーリングミュージックとして「やすらぎ」「瞑想」「春の鼓動」をCD・カセットで発売してまいりました。

今回のCD「禪」は菩提樹が全総力を結集して作りあげたもので、コロムビアレコードとは別に、精神世界の分野としてライト・シャワーレコードを作り、その第一弾として二十一世紀に向けて放つたものです。アルバムの内容は菩提樹が長きに渡り禅寺での生活の中で暖めてきた修行道場のイメージを鐘、木版、警策音等とシンセサイザーを駆使して完成させたもので、水の音より入り、振鈴、木版に始まる坐禅と、叢林、作務、托鉢、

求道、悟り、法燈、開祖の八曲で構成されています。この音楽を聴く人は菩提樹の心のやさしさに触れ、いながらにして修行道場での境地を体験し、心身共にリフレッシュすることが出来るでしょう。大きな愛に満たされますように!!

CDのお問い合わせ
菩提樹音楽事務所
〒156 東京都世田谷区松原
TEL&FAX 一〇一六二〇一
〇四八二二六二一八二

尚、現在菩提樹は、NHKの音楽制作やビデオ・カセットの音楽制作、そして神社や仏閣でのイベント等を中心に演奏活動をしております。

Spiritual music

禪

Z E N

- | | | | |
|---|-------------------|---|-------------|
| 1 | 振鈴 [SHINREI] | 5 | 求道 [KYUDŌ] |
| | 坐禅 [ZAZEN] | | |
| 2 | 大開静 [DAIKAIJŌ] | 6 | 悟り [SATORI] |
| | 叢林 [SŌRIN] | | |
| | 作務太鼓 [SAMUDA IKO] | | |
| 3 | 作務 [SAMU] | 7 | 法燈 [HŌTŌ] |
| 4 | 托鉢 [TAKUHATSU] | 8 | 開祖 [KAISO] |

作詞・歌：青山晴美 題字：板橋興宗「金沢 大乘寺住職」
 作曲：天上昇 演奏：菩提樹
 制作：(有)菩提樹音楽事務所
 発売元：LIGHT SHOWER RECORDS

全日本仏教青年会

◆日本仏教青年の日

奈良集会

4/26

◆比叡山大会

4/27
4/28

すべてのものは「共生」して生きています。仏教はそれを「縁起」と称して、自分だけで世界はありえない、と、おのれの思い上りを厳に戒めてまいりました。二十一世紀に向け、地球が生き残れるようにお互いを思いやる、そんな世界をつくらなければならない今、この「縁起・共生」の仏教思想は世界中から注目されています。

この立場に基づいて、日本の青年仏教徒のもつ潜在パワーを顕在化させて「日本に青年仏教徒あり！」といわせるような状況をつくりたい、とねがってわたしたちは「全日仏青」の活動をやっています。私どもは仏教という大いなる旗印の下に大同団結して「行動」しなくてはなりません。

仏教徒の「行動」とは、利他の実践です。今のことばでいえば「仏教ボランティアの実践」ということになります。この精神のもとにわたしたちは「救援の行動」「国際協定の行動」、環境問題、脳死臓器移植問題、葬儀問題などの「研修の行動」をやっています。

そして、全日仏青は、この二年間の活動の集大成を、大会で世に問いたく、比叡山大会を設定いたしました。

比叡山に、青年仏教徒が集い、その情熱をぶつけあい、その火花を比叡山から日本へ、いや世界へと発したいのです。みなさん。この大会に対し絶大なご理解、ご支援をたまわりたく存じます。そして、ひとりでも多くの方々がご参加下さいますよう、心より訴えます。

全日本仏教青年会
理事長 岸野亮淳

日本仏教青年の日・奈良集会

(奈良東大寺花まつり千僧法要5周年記念法要)

- 1993年4月26日(月)午後3時
- 奈良・東大寺アショカピラー前

比叡山大会

■第1日 1993年4月27日(火)

11:00	受け付け(昼食/更衣)	延暦寺会館
12:20	大法要	根本中堂
14:40	シンポジウム 15:00 分科会 ★第1会場/環境問題 ★第2会場/脳死・臓器移植問題 ★第3会場/葬儀問題 ★第4会場/他宗教団体との交流 17:00 全体会 大会メッセージ発表	叡山ホテル
18:30	国際交流+懇親会 ★来賓紹介・あいさつ ★懇親会	叡山ホテル

■第2日 4月28日(水)

8:30	叡山三塔順拝 記念植樹	
11:00	散会	延暦寺会館

4月26日

〈日本仏教青年の日〉

1988年(昭和63年)4月26日、全日本仏教青年会は仏法興隆のねがいをもって「花まつり千僧法要」を東大寺で開催しました。(主幹・全国曹洞宗青年会)この大法要に、全国から1,700名の僧侶、1万余の人々が相い集い、苦悩する人々の救済と人類の福祉・世界の平和に寄与することを誓願しました。

その後、全日本仏教青年会は、この4月26日を「日本仏教青年の日」と定めたのです。

今回の「比叡山大会」も、この4月26日(千僧法要5周年)にあわせて開催するよう、設定されました。

問い合わせ

〒673

神戸市西区北別府2-12

興楽寺内

比叡山大会実行委員会

TEL (078)974-0373

墓石 記念碑

静岡県経済連指定
造園・資材・灯籠
建築石材張石工事



石のヒウガ

(有)平賀石材工業所

本店工場 静岡県磐田郡佐久間町川合922 ☎(0539)65-1232代 FAX(0539)65-0921

浜北営業所 浜北市於呂1377の5 ☎(05358)8-7503
豊川インター支店 豊川市麻生田町中通り44の4 ☎(05338)4-7854
袋井インター支店 袋井市山科3256-1 ☎(0538)43-0510

豊橋支店 豊橋市羽根井西町12の13 ☎(0532)32-5730
静岡ペット霊園 静岡市平沢山王50番地 ☎(054)263-7161

京都曹洞宗青年会創立三十周年

—記念レセプション開催—

京都曹青記念事業各部長報告

昨年十一月二十日、京都府福知山市内ロイヤルホテルに於いて、青年会ゆかりの諸老師、府内御寺院、全曹青会長、近畿曹青会長、近畿曹青の会員諸兄を招き（総勢百名）盛大に開催された。

これは創立三十年を記念し、日頃より種々多方面に涉り御協力、御指導を頂く方々への御礼並びに、三十周年にちなみ行われた三つの部会から成る記念事業の報告を兼ね、青年会活動を強くアピールしたのである。



▲記念レセプション

当日午後三時半開演、各来賓祝辞、乾杯の後祝宴の中、各部長より事業報告が行われ、なごやかな中に二時間余りの会を終えた。

この会にて、発足時当初の趣旨「僧俗一体」を再確認し、今後青年会の目指している方向に助言を頂いた貴重な会であった。記念事業の各部長報告は次の通りである。

車いす韓国仏教文化ふれあいの旅

第一部会 九月五日〜九日（四泊五日）

この部会のテーマ「身体障害者を取り巻く社会環境問題」を提案したのは、過去五年間、青年会の全国車いす駅伝での介助経験を通し障害者に対し無知であるという反省から、今後更にこの問題に目をむけていく契機にならないかと考えたからであった。しかしこの重大な問題に取組み事業化することは容易ではなかった。そこで私達は自ら出掛け障害者の方と出会い、一から学ぶという結論に至り、四泊五日を伴った「相互理解」を深める事を目的とした旅が始まった。



旅を終えて大阪空港で別れる時、タイムの車いすの文字が参加者の意識の中から消えているのを観た、その表情が忘れられない。

青年会の協賛ポスターは黒衣の僧が車いすを押している、しかし旅を終えた私の目からは、一個の人間が手を握り合っている姿に見えた。私達の心が衣を脱ぎ障害者の方の心が車いすを離れた所までござる、全てがここから始まって行くそんな貴重なふれあいの体験をこの旅は与えてくれた。私達の寺にも段差が多い。だから私達が、スロープにならなければ。

▲法要・イス坐禅

第二に聞法の充実を計る、近年の参禅者の多くが聞法を希望している点を考え、青山俊薫老師（心に響く法話）中野東禪老師（理論的なお話し）は、対照的で好評であった。

第三に新しい試みとして万灯供養を行い厳かな中での法要に打たれた参禅者が多数みられた。



▲緑蔭禅の万灯供養

その他にも当青年会が加盟する「京都青少年活動推進会議会長」裏千家若宗匠伊住政和氏による献茶式も執り行い記念大会に花を添えて頂いた。



▲車いすの介助



▲交流会

第三十回記念緑蔭禅の集い

五日大阪南港乗り場フェリーの狭く急なタラップから介助は始まりバス、列車、飛行機、仏国寺の石段等、階段や段差が続く旅の中、青年会員と一般ボランティアの介助するひたむきな姿と気配りは、障害者の参加者の賞賛を受け、ソウル曹溪寺での私達の法衣姿を見て「ああ、そうなんだ」と一般参加者が思うくらい自然に打ち解けていた。最初は大変だとばかり思った介助は、実は障害者と私達の心を結ぶ架け橋であったように思った。

第二部会 七月十日〜十二日（二泊三日）

「緑蔭禅」は「秋冷禅」と共に基本的且つ継続的な事業であるが、三十回目の記念としていくつかの目標を持って準備した。

第一に二泊三日、（近年は予算、会員数の関係上一泊二日）募集人員百名とすること、これは内容の充実を計ることにより、結果的に百二十五名の参加を得ることが出来た。



▲緑蔭禅の坐禅



▲緑蔭禅献茶式

記念誌、京都曹洞宗寺院総覧作製

第三部会

記念誌は青年会三十年の歩みとして、発足当初の趣旨、目的を含め、諸先輩の回顧録、祝辞を掲載し、各事業の結果報告等より今後の指針とする。

寺院総覧は府下四百の全ての寺院を写真入りで歴史、沿革、寺宝等を網羅し掲載することにより各寺院の使用に堪え得るものとする。

京都曹青 会 長 石川 順之
 事務局長 竹内 文成
 一部会長 村田 和彦
 二部会長 平沢 祥秀
 三部会長 大久保 仁志



桃源舎のパソコン・ソフトヘルパー和尚さん

◆全国各地納入時指導◆

寺院総合管理システム

- 1 檀信徒管理
- 2 霊名簿管理
- 3 寺院会計管理
- 4 会費・布施管理
- 5 寄付金管理

対応機種

- 松下版 (Panacom M)
- NEC版 (PC9801シリーズ)
- 富士通 (FMR)
- リコー版 (マイツール)
- シャープ版 (MZ-6556)
- 日立版 (B-32)

※その他の機種も取り扱っておりましてご相談下さい。

（その他取扱品目）パソコン・ファックス・ホームテレコン・コピー

株式会社 桃源舎

本社 〒115 東京都北区西ヶ丘3-1-3-106 TEL (03)3909-0794

檀信徒にかかわる複雑な情報管理から会計事務まで... 寺院管理のすべてを引受けます

実施中！
 現在帳・過去帳の整理および入力代行